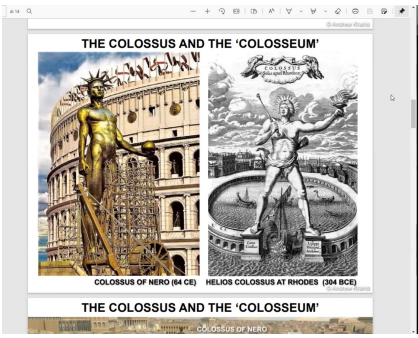


羽ばたけ! TUT2021 報告書概要

4 系 B 4 年 氏名 金城 ゆう

参加プログラム	☐ モナシュカレッジ ☒ SAF 短期研修 ☐ スインバン大学 ☐ 湖池屋ベトナム ☐ シリコンバレー ☐ フリープラン型
参加プログラム名	3c.短期研修型ローマのアート・建築
研修期間	2021 年 8 月 30 日 ~ 2021 年 9 月 17 日
研修先機関名・ 所在国	SAF イタリア
研修の概要 （研修テーマや課題、目標・目的や主な研修活動内容、研修で達成したこと等を簡潔にまとめて書いてください。）	・研修テーマ 古代から現在のローマの建築と芸術の発展について ・課題 ローマ市内の主要な建物の講義、スケッチを通してローマを形成した宗教、政治的要素を理解し、最終発表では 1 つの建築物について学んだ視点を利用して調査を行う。 ・目標、目的 ローマの建築と都市開発について、当時の支配体制や歴史の流れを踏まえて学ぶ。英語で講義を受ける機会を得ることで、その場で理解をして質問できる力を得る。 ・活動内容 3 週に分けてそれぞれのテーマについての講義とスケッチを行う。WEEK 3 では最終発表を行い、各自 1 つの建築物について調査を行い建築士の意図や、その時代背景が反映されている部分についてなどを発表する。 （WEEK 1 古代ローマの歴史と、軍事主義を反映した建築物 WEEK 2 中世期の暗黒時代と教会の権力増大に関わる建築物 WEEK 3 ファシズム体制時代のローマと現代の建築物の関係性） ・研修で実際に達成した成果 ローマを中心とした歴史とともに、時代ごとの建築物の持つ意味や宗教的意匠について知り、皇帝や法王の民衆への意図を考えることができた。英語での授業内容について質問や短いディスカッションを行うことができた。 ・今後の目標 講義や発表の言語が英語でも臆せず参加できるようになる。
活動写真 1 枚 （修了証の写真でも可）	

羽ばたけ! TUT2021 報告書

研修内容

① 参加の目的や動機

建築と都市開発について、当時の支配体制や歴史の流れを踏まえて学んでみたいと考えており、研修の内容がローマの歴史を踏まえて芸術や建築を学ぶ講義だったため魅力的に感じたためこのコースを選択した。また、英語に苦手意識があり今回の研修で初めて知る内容について英語で講義を受け、その場で理解し、質問できる力を得たいと思い参加を志望した。

② 研修内容

- ・テーマ 古代から現在のローマの建築と芸術の発展について
- ・講義内容 3週に分けてそれぞれ古代、中世、現代のローマについての歴史と建築物の講義と講義内で主要な建築物や、街並みについてスケッチを行う。

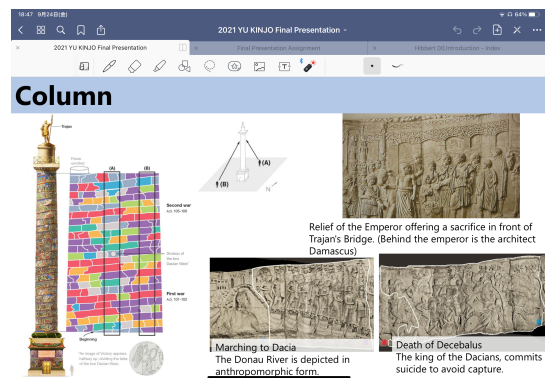
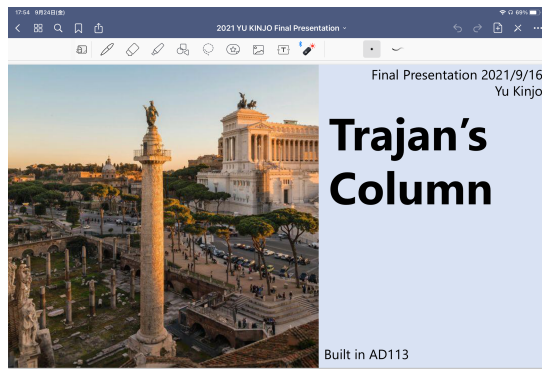
WEEK 1 ローマの共和国の成り立ちから、皇帝支配時代の軍事主義を反映した都市計画、建築物（コロッセオ、トラヤヌスの記念柱）について学び、どのように権力を誇示し民衆心理を動かしたかを知る。

WEEK 2 ローマ帝国の衰退によるローマ暗黒時代の特徴的な建築物と古代ローマの功績を守り復活を目指し迎えたルネッサンス時代までの流れと、活躍した法王の政策について学ぶ。ルネッサンス期活躍したミケランジェロの芸術と建築から彼の思想や教会の権力の象徴を表現した部分に注目して見学する。バロック期の代表的な建築士とその建築物と、古代からの歴史を反映しながら変化する都市開発の様子を学ぶ。

WEEK 3 皇帝、法王支配から政府、市民による統治に代わるローマの様子と、他国に遅れての産業革命による人口拡大、それに伴う新たな住宅街の都市計画について学ぶ。ムッソリーニを始めとするファシズム政権の古代ローマを理想とする新たな都市計画による中世期の建築物の破壊とファシズムの影響を受けた建築物たちの意匠を知り、現代ローマがそれらを負の遺産として保存するまでを知る。

※週に2～3回日本人講師の方からイタリアでの食文化、SDGs（食料関係）などの紹介や現地の起業家、農業従事者のインタビューを視聴する。その後、日本の現状との比較と違いがある原因についてディスカッションを行う。

- ・課題 授業外で「Rome The Biography of a City」の指定部分を各授業前までに読んで授業中に振り返りを行う。週のテーマに沿ったローマの街並みや服装を学ぶために指定の動画や映画を鑑賞し、授業内で学んだ点を観察する。
- ・最終発表 1人3分間質疑応答7分間で発表を行う。ローマ市内の建築物1つを選択し、発注者、建築士、時代背景を反映している部分、特徴的な技術、シンボルなどの意味や建築士の個人的な表現部分を調査し発表を行う。自身が特に印象的なポイントについてその理由と詳細についてのみ発表することも可能。



③ 研修の成果、研修で獲得したもの、当初設定した行動目標の達成度、問題点

- 成果 ローマを中心とした歴史とともに、時代ごとの建築物の持つ意味や宗教的意匠について知り、皇帝や法王の民衆への意図を考えることができた。英語での授業内容について質問や短いディスカッションを行うことができた。
- 設定した行動目標と達成度、問題点

「ディスカッションの際にかならず発言する。」達成できたと考えられる。ディスカッションの機会自体は少なかったが、感想を言うタイミングや質問ができるタイミングではすべて発言することができた。また、短い時間だが、イタリア、古代ギリシャからの独特の美的感覚について講師と話し合うことができた。

「レクチャーで理解が出来なかった部分について単語や文章を含めて翌日のレクチャーまでに解決する。」ほぼ全ての講義で達成することができた。初回の授業で知らない単語が多く講義内容を理解することが非常に難しく感じたが、課題の本や予習を行うことで効率的に授業内容を理解することができた。また、授業動画が当日中に共有されるため、翌日までに再度視聴することができ聞き漏らした部分を学ぶことができた。

授業内容で聞き取れなかった部分をサポートする時間が長く、講義時間内の質問時間が削られることがあったが、些細な質問でも講師にメールで相談すると、参考文献や講師の意見も含めて非常に丁寧に教えていただくことができた。

④ 今後の目標、課題、当初設定した「研修後に実践する行動目標」の見直し

• 課題 英語で会話する機会がほとんどなく、講義の内容や講師の会話の内容が理解できていてもすぐに返答することができないことを痛感した。また、ノートを取る際に日本語に訳してメモを取ろうとしてしまい時間が掛かってしまうことがあった。

- 設定した研修後に実践する行動目標

「英語の講義、論文を日本語に翻訳して理解するのではなく、まず英語のまま読む、理解することに挑戦する。」

「研究室内の、英語の発表に質問する。」

設定した目標は現在も必要なことだと考えている。今回の研修で、自身の中での英語での講義や長文を読むことに対する抵抗はやや弱まったと思う。特に目標の 1 つ目は日本語に訳しようとしてしまう癖が学習時に非常に不便に感じたため、力を入れて取り組みたいと考えている。

⑤ その他感想など

今回の研修では、元々興味のあった建築についての講義を受けられることを非常に楽しみにしていた。英語への苦手意識が霞むほどの楽しみな講義内容のおかげで研修応募に踏み切れたと思う。講師と、日本人のサポーターのおかげで効率的な予習や、特に興味のある部分の追加の資料の提供があり

より豊かな研修になったと思う。当初予想していたほど英語での質問機会は無かったが、メールなどで毎日自分から質問機会を作ることができ、詳細な情報や、講師自身の考えを聞く機会ができたことがうれしかった。印象的だったのが色に対する価値観の違いについて、古代ギリシャから影響した白色に対する神聖なイメージや、高貴さから上流階級が用いる制約などがあったことである。私の出身地や平安時代の色の考えとはまた異なった発想驚きが大きかった。また、歴史のなかで宗教の影響が非常に大きく、ローマはギリシャを元とする多神教のモチーフが多くある教会と、カトリック、プロテスタントなどが複雑に影響しあう建物が多く存在している点が日本の寺院とは異なっていると感じた。研修を通して感じた自身の苦手な部分を改善することで、今まで以上に有意義な学習の機会を得ることが出来ると感じた。